

Nittobo

第156期

日東紡 株主通信

2016年4月1日 ~ 2017年3月31日

- 株主の皆様へ
- 事業紹介
- 長期ビジョンと新中期経営計画
- トピックス
- 財務ハイライト(連結)
- 財務諸表(連結)

証券コード：3110

株主の皆様にはますますご清栄のことと拝察申し上げます。

ここに当社グループ第156期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）の業績をご報告申し上げます。

取締役 代表執行役社長 辻 裕 一

2017年3月期の業績

当連結会計年度におけるわが国経済は、力強さに欠けるものの個人消費や設備投資は緩やかに持ち直しの兆しがみられる状況でした。しかし、前連結会計年度と比較して円高が進行し、また世界経済でも、中国経済の減速や英国のEU離脱問題の影響など、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の下、当社グループは高付加価値品へのシフト、生産性向上や原価低減、並びに財務基盤の安定化に注力しました。

この結果、連結売上高は833億24百万円（前期比3.3%減）、連結営業利益は111億48百万円（前期比2.3%増）、連結経常利益は113億96百万円（前期比3.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は74億79百万円（前期比33.6%増）となりました。

今後につきましては、引き続き事業基盤の強化と企業価値の向上に努めてまいります。

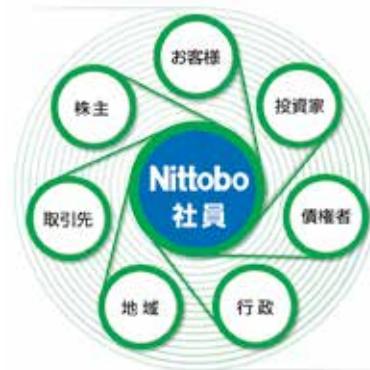
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますよう、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

経営理念

日東紡グループは「健康・快適な生活文化を創造する」企業集団として社会的存在価値を高め、豊かな社会の実現に貢献し続けます。

日東紡宣言

- 日東紡グループは社会の「ベストパートナー」を目指します。（日東紡BP宣言）
- 私たちは、お客様の求めるものを絶えず追究し、お客様に「安心と信頼」を誠実にお届けすることを喜びとします。
また、企業活動を通じ株主・投資家・行政・地域社会等すべてのステークホルダー（社会）と共に喜びを分かち合うことを大切にします。
- 私たちは自立した一人ひとりの社員の可能性を尊び、自由闊達にアイデアを出し合いながらチームワークにより力を発揮する企業集団を目指します。
- 私たち企業グループは社員の成長が会社の成長であることを信じ、社員に成長と自己実現の機会を提供します。
社員はまず第一に良き市民であり、深く考え、広く見渡し、果敢に行動します。そして粘り強くやり遂げます。

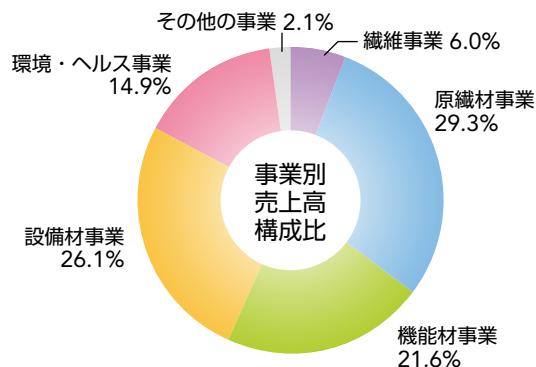


深く 広く 強く そして温かく

当期 事業セグメント別業績

事業セグメント別の売上構成比は右グラフの通りです。

また、当期の事業セグメント別の売上高、営業利益は以下の通りです。



繊維事業

繊維事業は、「日東紡のふきん」などの二次製品販売について、インターネット販売を開始するなど、販路拡大に向けた取り組みを強化し、収益性の改善に努めました。

	売上高	営業利益
2017年3月期 (2016.4.1~2017.3.31)	4,950	△366
2016年3月期 (2015.4.1~2016.3.31)	5,568	△483

(百万円)

原織材事業

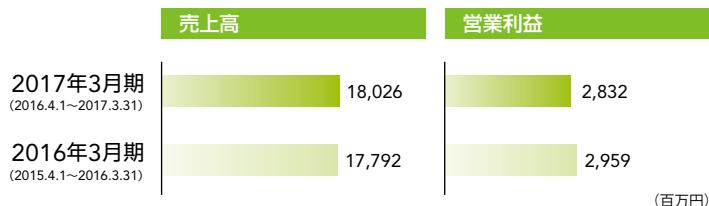
原織材事業では、スマートフォン等の一時的な需要鈍化や円高進行がありましたが、ガラスヤーン等の高付加価値品の生産能力増強や生産効率化、燃料コスト改善等を図ることで対応しました。

	売上高	営業利益
2017年3月期 (2016.4.1~2017.3.31)	24,447	5,220
2016年3月期 (2015.4.1~2016.3.31)	26,806	4,803

(百万円)

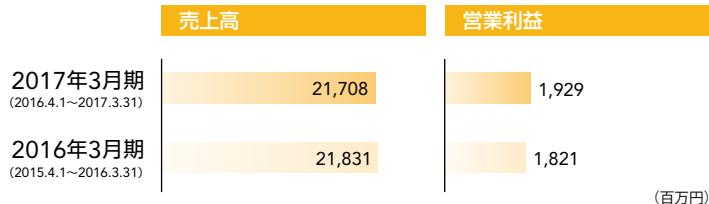
機能材事業

機能材事業では、円高基調の厳しい環境の下、高機能サーバーや基地局向け等の電子材料用途の需要に対応し、高付加価値品へのシフトを更に推進しました。



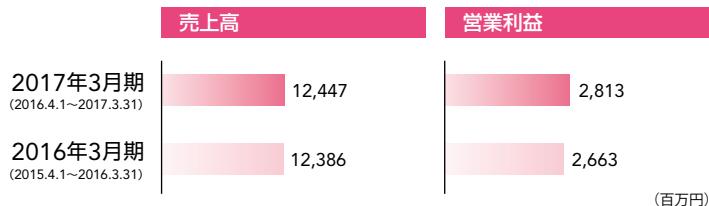
設備材事業

設備材事業では、住宅向け断熱材の堅調な需要に対応することで、シェア拡大や新規顧客獲得に努めました。また、生産性向上や原価低減を推進し、収益性の向上に努めました。



環境・ヘルス事業

環境・ヘルス事業では、メディカル分野での拡販に努め、また、飲料分野での多品種小ロットの需要に幅広く対応しました。



長期ビジョンと新中期経営計画

中長期経営基本方針

長期ビジョン101

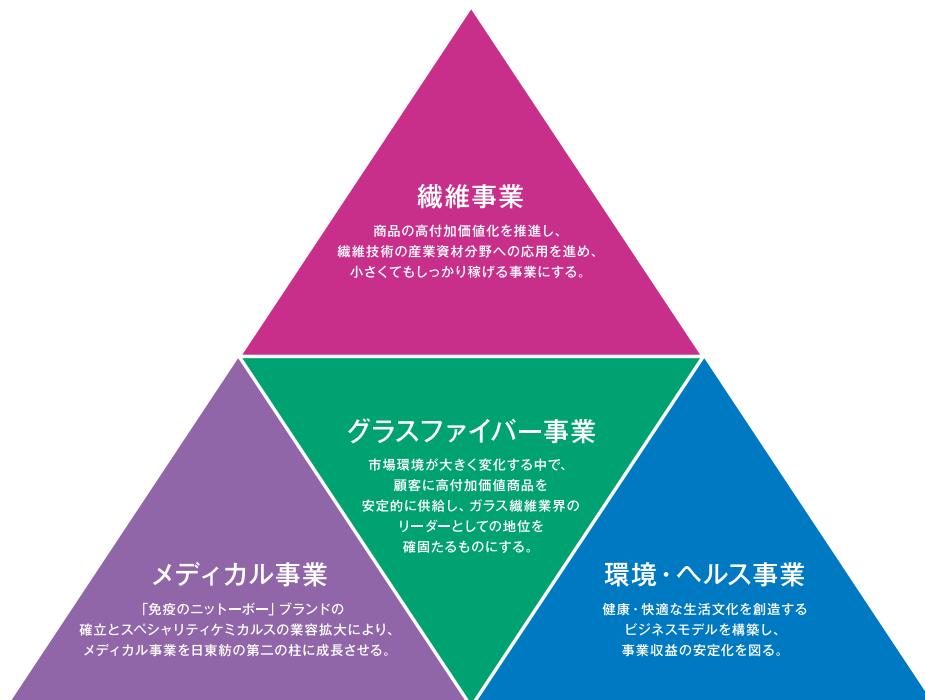
日東紡が基盤を置く日本国内の少子化・超高齢化・総需要減少の中で、生き残りを図ると同時に、海外に目を向け、次の100年に向けて日東紡の持続的な成長を目指す。

2023年度(101年目) 目指すべき企業像

顧客と技術を基軸とした、
特色ある事業・商品群を持ち、
創業の地・福島から、そして日本から世界へ
イノベーション（革新）を発信し続ける企業

運営の基本方針

- ① 社内外に風通しの良い日東紡グループを目指す
- ② 研究・技術開発なくして日東紡の発展はありえない
- ③ コーポレートガバナンスの構築と不断の見直しを行う



日東紡は、6年後の2023年4月1日に創立100周年を迎えます。
 当社グループが次の100年も持続的な成長を目指すために、101年目である2023年度をターゲットとする目指すべき企業像『長期ビジョン101』と、2020年度までの4年間を対象とした『日東紡グループ 中期経営計画《Go for Next 100》』を策定いたしました。

中期経営計画2017-2020

Go for Next 100

変革と創造への挑戦 一次の100年に向かってー

基本方針

2017-2020中期経営計画は、2023年度を見据えた「長期ビジョン101」の実現に向けた第1ステージである。

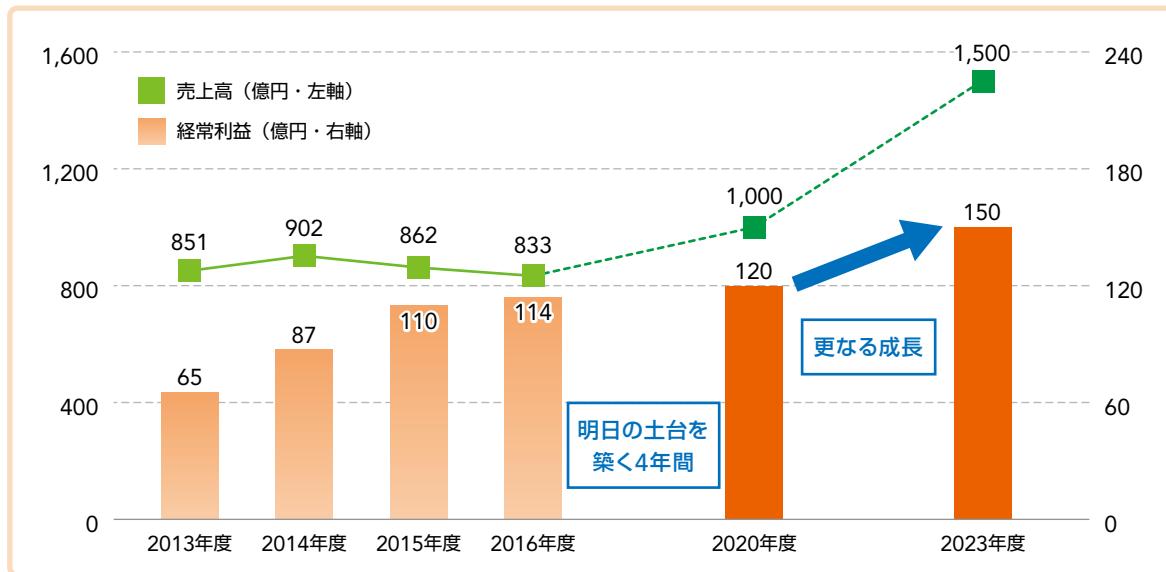
現在の収益性を持続できる基盤を確立した上で、将来の成長のチャンスをついていく（＝明日の土台を築く）。

今中期経営計画は、日東紡グループの優位性を見極め、これを徹底的に追求する。



長期ビジョンと新中期経営計画

数値目標



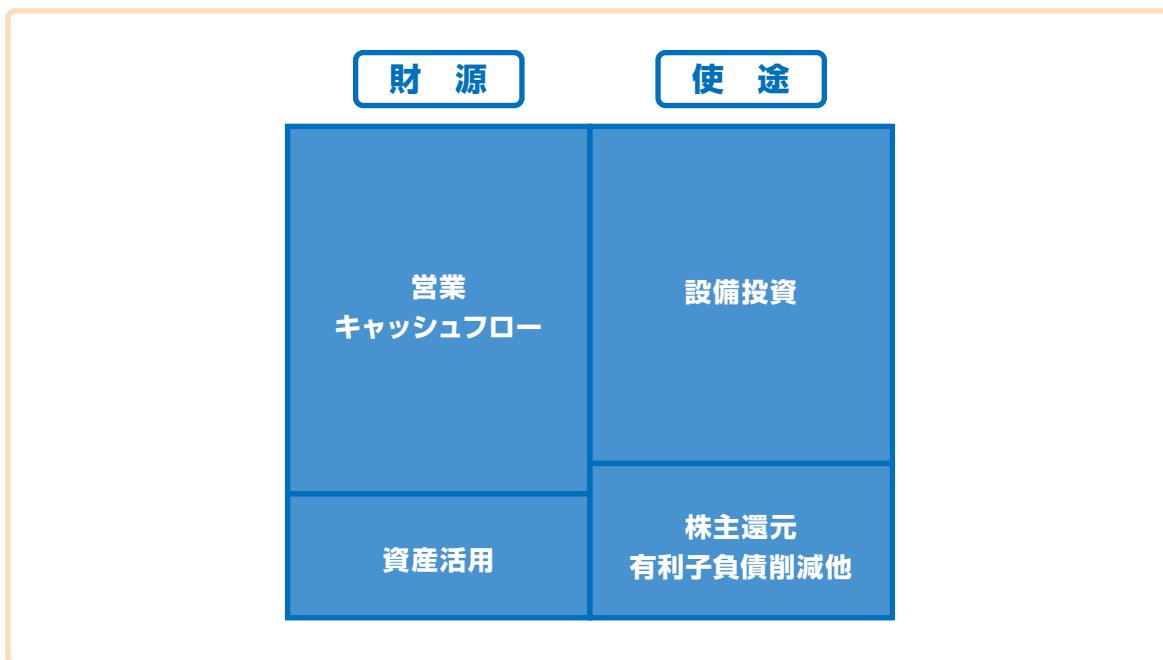
- 資産活用および営業キャッシュフローを財源に4年間累計で550億円規模の設備投資を実施し、成長のための土台を築いてまいります。

(単位: 億円)

	2016年度	2020年度	2023年度
売上高	833	1,000	1,500
営業利益	111	120	150
経常利益	114	120	150
当期純利益	75	80	100
ROE (%)	9.8%	8%以上	10%以上
有利子負債 (NET)	91	100以下	実質ゼロ
自己資本比率	55.2%	60%以上	70%

財務戦略と株主還元方針

- 営業キャッシュフローと資産活用により獲得した資金を、成長投資を中心とした設備投資に配分をいたします。
- ネット有利子負債の削減と株主還元をバランスよく実施いたします。



- 当社は財務健全性や株主還元等のバランスを勘案した資本構成とすることを資本政策の基本方針としております。また当社は、株主に対する配当政策を経営の最重要事項の1つとして位置づけ、財務体質強化と将来の安定的成長のための内部留保の充実などを総合的に勘案し、安定的な配当の成長を基本方針としたうえで、配当性向（業績連動）を視野に入れ決定してまいります。また時々の財政状況に応じて機動的・弾力的な株主還元を検討してまいります。

繊維事業部門

繊維事業トピックス

事業内容 ストレッチ素材の二層構造糸C・S・Y®や「日東紡の新しいふきん®」など、衣料用途から生活に密着した製品まで幅広く提供しています。

日東紡のふきん「parfaite®」パルフェット

1960年に暮しの手帖社と共同開発した「日東紡の新しいふきん®」は、皆様に長く愛される商品として、2015年グッドデザイン・ロングライフデザイン賞を受賞しています。

この度「ライフスタイルに合わせて使える手ごろなサイズのふきんが欲しい」というお客様からのご要望にお応えし、少し小さなサイズのふきん「parfaite®」（パルフェット）を発売しました。

「parfaite」とは、フランス語で「かわいい」という意味。

2016年発売の「とと姉ちゃん」バージョン、今治認定タオル「BELOVED PURE」同様、Amazonにてお買い求めいただけますので、ご愛顧の程お願いします。



ニットーポー新潟(株) 14th JAPAN YARN FAIRに出展

2月22日～24日の3日間、ニットーポー新潟(株)は、愛知県一宮市で開催された14th JAPAN YARN FAIRに出展しました。

同フェアには全国の商社、紡績、合織メーカー等53社が出展しました。来場者は、同時に行われた総合展「THE 尾州」と合わせて約5,700名にも上りました。

今回で5回目の出展となるニットーポー新潟(株)は、高付加価値商品である多層構造糸、ハイブリットヤーンを展示し、多くのお客様にお集まりいただきました。

今回の展示会にて新たに商品を採用頂いた多くのお客様に感謝するとともに、今後も更なる高付加価値品の開発を進めてまいります。



グラスファイバー事業部門

原織材事業トピックス

事業内容 ヤーン、ロービング、チョップドストランド等の特徴あるグラスファイバー原織(糸状)製品を、強化プラスチック用途や電子材料用途など幅広く提供しています。

NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd.(台湾)で細番手ヤーン生産開始

性能や技術が日々進化するPC、サーバー、スマートフォン、IoT機器の高機能化に伴い、高付加価値商品である極細/細番手ヤーンの需要が拡大を続けています。

そのため、グラスファイバー事業部門では、1998年より産業資材用途や電子材料用途の中太番手ヤーンを生産しているNITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd. (台湾)で、細番手ヤーンの詳細生産を開始しました。

細番手ヤーンを台湾で製造することで、国内での極細ヤーンの増産が可能となり、グループとしてさらなる高付加価値化が図れます。また、NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd. (台湾)は産業資材用途ヤーン/電子材料用途の高付加価値商品の生産基地へと成長する第一歩となりました。



機能材事業トピックス

事業内容 グラスファイバーの糸を加工したガラスクロス等の高性能な機能製品を、電子材料用途や産業資材用途等に提供しています。

11 μ クロスの生産開始

当社のガラスクロスは、スマートフォンなどに使われる最先端の分野に幅広く使用されており、なかでも、半導体パッケージ基板に使われている超極薄ガラスクロスは、従来の最薄クロス15 μ m(1 μ mは1mmの1,000分の1)よりも、更に薄く13 μ mクロスと薄さに対する要求が高まっています。

当社は、極細ヤーンの高度な細線化技術と開織技術(クロスに織られた繊維の束を開かせる技術)の革新により、更に薄く11 μ m厚みのガラスクロスの開発に成功し、生産を開始しました。

通常のEガラスに加え、実装時の熱による反りの抑制が必要な用途向けに、熱膨張係数の低いITガラスも準備していきます。これらの技術により、更なる軽薄短小化が求められるスマートフォンの実現に大きく貢献していきます。



グラスファイバー事業部門

設備材事業トピックス

事業内容 土木・建築用途や産業用途の幅広いグラスファイバー製品や、住宅用断熱材用途等の高性能なグラスウールを提供しています。

幅5メートルを超える膜材を増産

膜材とは、東京ドームの屋根に代表される、ガラスクロスにフッ素樹脂をコーティングした膜構造物の基材となるガラスクロスを指します。膜構造物は、金属などの一般的な屋根と比べ、軽量で耐震に有利であるだけでなく、太陽光を自在に利用しやすく、また、自由な造形設計ができる利点を持っています。近年、オリンピックやサッカーのスタジアム、空港、駅などで、特徴ある膜構造物を目にする機会も増えてまいりました。

大規模な膜構造物にとって、膜材の幅は広ければ広いほど、縫製箇所に制限されない、自由なデザインができるメリットがあります。当社は、長年培った製織技術を活かし、5メートルを超える幅の膜材を提供しており、この度、需要の高まりに応えるため、増産体制を整えました。今後、お客様が使いやすい膜材を提供することで、世界の膜構造物をリードしてまいります。



『ライトシェード』がHEADベストセレクション賞2016受賞

グラスファイバー事業部門が製造・販売する照明カバー材『ライトシェード』がHEADベストセレクション賞2016を受賞しました。この賞は、一般社団法人HEAD研究会にて毎年度選定される、「優れた建築を生み出すことに貢献しうる優れた建材・製品」に与えられる賞です。

6回目となる今回は7名の著名な建築家・デザイナーにより全10製品が選ばれ、ライトシェードは軽くて不燃という特徴もさることながら「ライトが光っていない状態でも布張りのような質感が演出でき、圧倒的に美しい天井が造り出せる」とデザイン面も高く評価されました。

会場内のHEADベストセレクション賞ブースに展示されたライトシェードは多くの皆様に製品の魅力を知っていただく大変いい機会となりました。



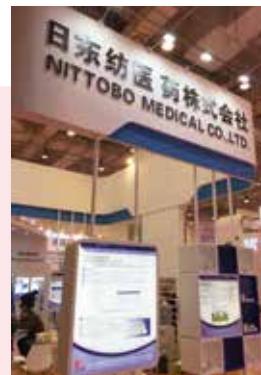
環境・ヘルス事業トピックス

事業内容 メディカル分野では体外診断薬やポリマー素材製品等を取り扱っています。また、清涼飲料水の製造を行う飲料事業も展開しています。

ニッポーメディカル(株)、Nittobo America Inc. CACLP EXPO 2017に出展

3月12~14日の3日間、ニッポーメディカル(株)、Nittobo America Inc.は、中国最大級の体外診断薬関連製品の展示会である「CACLP EXPO 2017」に出展しました。

今回の展示会では、体外診断薬の高品質な抗血清（血漿蛋白項目等）を出展し、急成長を遂げている中国市場でのプロモーション活動を進め、既存顧客との関係強化や新規顧客の開拓に努めました。中国のお客様からいただいた多くの声を活かし、引き続きお客様から信頼されるパートナーとして誠意をもって接してまいります。



ニッポーメディカル(株) 機能性コーティングフェア 2016に出展

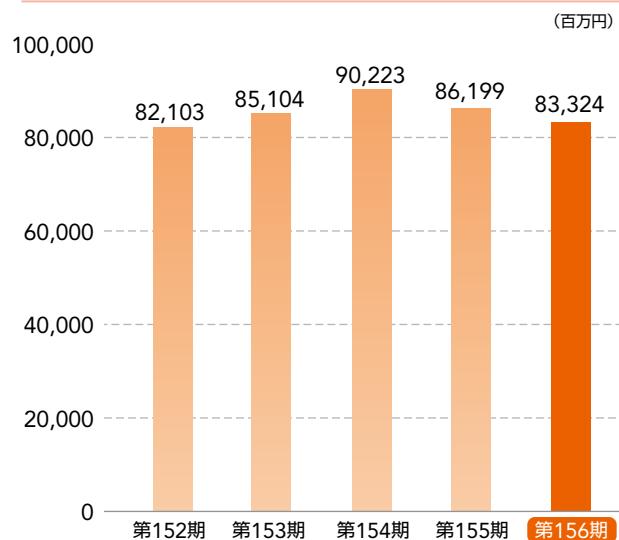
昨年12月8日、ニッポーメディカル(株)は、様々な表面処理技術を有する企業が集まる展示会「機能性コーティングフェア 2016」に出展しました。

今回、『1液性常温硬化型材料 SSGコート』を出展し、様々な産業・分野の来場者から反響をいただきました。コーティング技術は素材の高機能化、複合化に重要な役割を果たしておりその技術動向が注目されています。今後もお客様の商品に新たな価値をプラスするコート剤を提供してまいります。

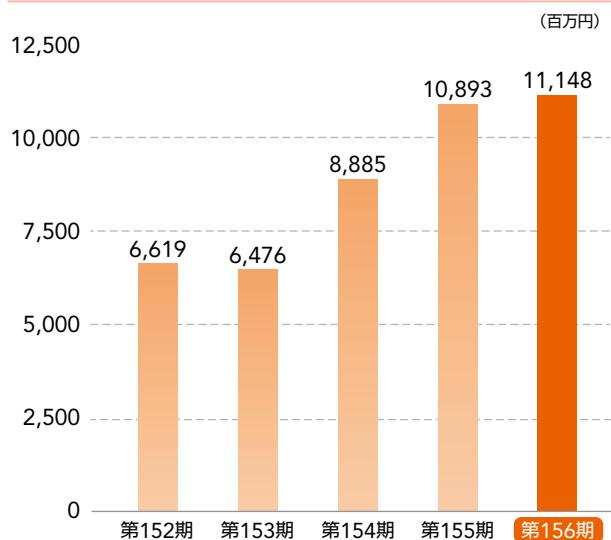


財務ハイライト (連結)

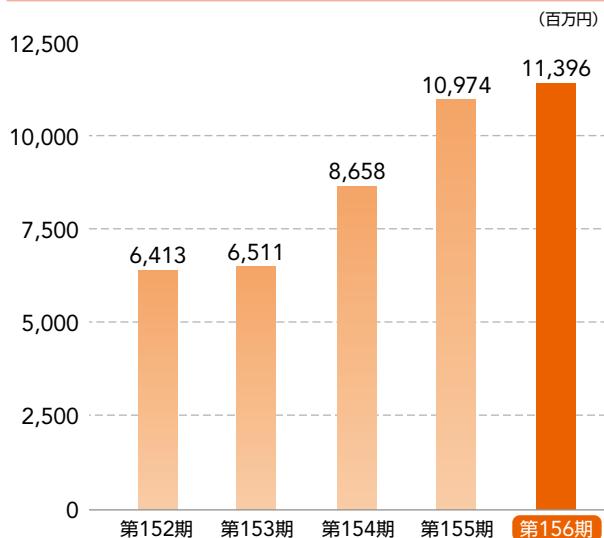
売上高



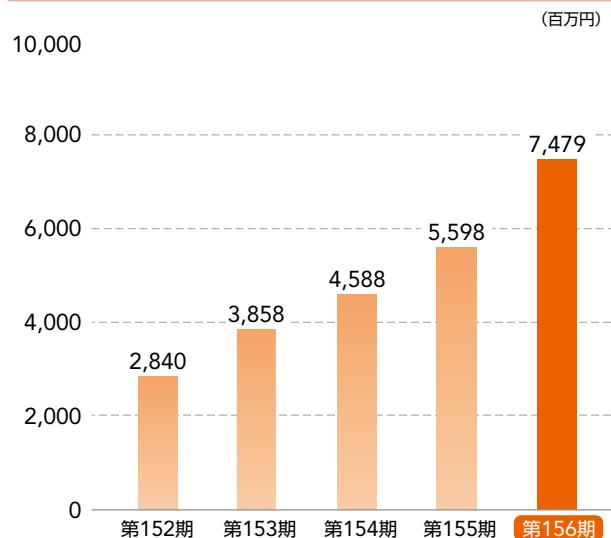
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



財務諸表（連結）

連結貸借対照表（要旨）

（百万円）

科 目	当期末 2017年3月31日	前期末 2016年3月31日
（資産の部）		
流動資産	67,660	65,859
現金及び預金	18,229	17,891
受取手形及び売掛金	24,077	23,898
たな卸資産	21,365	21,195
その他	3,988	2,874
固定資産	72,521	76,895
有形固定資産	42,053	45,072
建物及び構築物	12,156	13,245
機械装置及び運搬具	8,697	9,579
土地	16,847	17,396
その他	4,351	4,850
無形固定資産	1,687	1,891
投資その他の資産	28,780	29,932
投資有価証券	25,443	26,599
その他	3,336	3,332
資産合計	140,182	142,755

（百万円）

科 目	当期末 2017年3月31日	前期末 2016年3月31日
（負債の部）		
流動負債	28,946	29,221
支払手形及び買掛金	7,806	7,424
短期借入金・ 1年内返済予定の長期借入金	11,574	13,492
その他	9,565	8,304
固定負債	32,954	38,078
長期借入金	11,667	14,439
退職給付に係る負債	11,051	12,879
その他	10,236	10,760
負債合計	61,901	67,299
（純資産の部）		
株主資本	73,292	69,347
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,037	23,107
利益剰余金	36,313	35,495
自己株式	△1,757	△8,954
その他の包括利益累計額	4,097	5,251
その他有価証券評価差額金	5,382	6,177
為替換算調整勘定	935	1,315
退職給付に係る調整累計額	△2,220	△2,241
非支配株主持分	890	856
純資産合計	78,281	75,455
負債純資産合計	140,182	142,755

財務諸表（連結）

連結損益計算書（要旨）

(百万円)

科 目	当期	前期
	2016年4月1日～ 2017年3月31日	2015年4月1日～ 2016年3月31日
売上高	83,324	86,199
売上原価	53,380	57,049
売上総利益	29,943	29,149
販売費及び一般管理費	18,795	18,255
営業利益	11,148	10,893
営業外収益	912	844
営業外費用	665	764
経常利益	11,396	10,974
特別利益	12	231
特別損失	1,001	2,468
税金等調整前当期純利益	10,406	8,737
法人税等	2,882	3,112
当期純利益	7,524	5,625
非支配株主に帰属する当期純利益	44	27
親会社株主に帰属する当期純利益	7,479	5,598

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(百万円)

科 目	当期	前期
	2016年4月1日～ 2017年3月31日	2015年4月1日～ 2016年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,034	16,677
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,271	△12,294
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,826	△2,276
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	△120
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△38	1,985
現金及び現金同等物の期首残高	17,466	15,481
現金及び現金同等物の期末残高	17,428	17,466

会社概要

● 企業詳細

社名	日東紡（登記名：日東紡績株式会社）
本店所在地	福島市郷野目字東1番地
本部所在地	〒102-8489 東京都千代田区麴町二丁目4番地1
創業年月日	明治31年2月 郡山絹糸紡績株式会社（郡山）設立 大正7年4月 福島精練製糸株式会社（福島）設立 大正12年4月 日東紡績株式会社創立
資本金	196億円
従業員	778名（2017年3月31日現在）
ホームページ	http://www.nittobo.co.jp

● 主な営業所・工場・研究所等

大阪支店	〒541-0043	大阪市中央区高麗橋4-3-10 （日生伏見町ビル新館）
名古屋支店	〒460-0003	名古屋市中区錦2-14-21 （円山ニッセイビル）
福島工場	〒960-8161	福島市郷野目字東1
富久山事業センター	〒963-8061	郡山市富久山町福原字塩島1
新潟事業センター	〒950-0065	新潟市東区東新町6-50
泊事業センター	〒939-0744	富山県下新川郡朝日町平柳500
伊丹生産センター	〒664-8501	伊丹市桑津1-6-1
千葉事業センター	〒263-0004	千葉市稲毛区六方町210
ファイバー研究開発センター	（福島工場内）	
メディカル研究開発センター	（富久山事業センター内）	
スペシャリティケミカルス研究開発センター	（富久山事業センター内）	

● 連結子会社

（2017年3月31日現在）

(株)日東紡インターライニング	ニッターポー新潟(株)
日東紡(中国)有限公司	富士ファイバーグラス(株)
日東グラスファイバー工業(株)	NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd.
日東グラステックス(株)	(株)双洋
日東紡澳門玻纖紡織有限公司	パラマウント硝子工業(株)
(株)日東紡テクノ	ニッターポーメディカル(株)
ニッタービバレッジ(株)	日東紡エコロジー(株)
Nittobo America Inc.	

その他5社

● 取締役

（2017年6月28日現在）

取 締 役	辻 裕 一
取 締 役	西 坂 豊 志
取 締 役	増 田 米 博
取 締 役	野 崎 有
社 外 取 締 役	濱 邦 久
社 外 取 締 役	香 田 忠 維
社 外 取 締 役	上 林 博
社 外 取 締 役	尾 内 正 道

● 執行役

（2017年6月28日現在）

代 表 執 行 役 社 長	辻 裕 一*
専 務 執 行 役	戸 田 数 久
常 務 執 行 役	増 田 米 博*
常 務 執 行 役	野 崎 有*
常 務 執 行 役	竹 内 実
常 務 執 行 役	前 山 茂
執 行 役	木 村 和 博
執 行 役	宇 津 木 和 之
執 行 役	五 十 嵐 和 彦
執 行 役	谷 川 治 仁
執 行 役	多 田 弘 行
執 行 役	石 原 英 幹

*は取締役兼務

● 技 監

（2017年6月28日現在）

技 監	今 野 敏 裕
-----	---------

株式情報

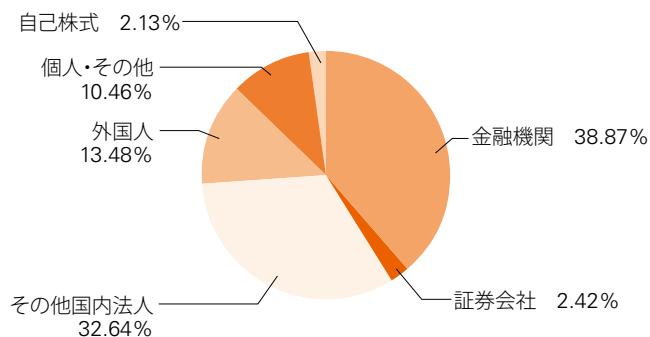
● 株式の状況

(2017年3月31日現在)

発行済株式総数	199,677,560株
株主数	11,437名

● 所有者別分布状況

(2017年3月31日現在)



● 大株主

(2017年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,339	6.31
住友不動産株式会社	11,917	6.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,242	5.24
日本生命保険相互会社	8,073	4.13
第一生命保険株式会社	6,580	3.37
株式会社TSIホールディングス	6,220	3.18
ユニゾホールディングス株式会社	5,567	2.85
住友生命保険相互会社	5,412	2.77
株式会社みずほ銀行	5,000	2.56
エア・ウォーター株式会社	4,986	2.55

※持株比率は、自己株式を除いて算出しています。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告をして定めます。
公告方法	当社のホームページ (http://www.nittobo.co.jp/) に掲載します。 ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
証券コード	3110
単元株式数	1,000株
上場取引所	株式会社東京証券取引所
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9:00~17:00)

● 単元株式数の変更および株式併合に関するご案内

当社は、2017年10月1日をもって、

1. 単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。
2. 当社の普通株式5株を1株に併合いたします。

株主様におかれましては、単元株式数の変更および株式併合に伴う特段のお手続きの必要はありません。

■ 株式併合による影響

株式併合により、株主様がご所有の当社の株式数は併合前の5分の1となりますが、その前後で会社の資産や資本は変わりませんので、株式市況の変動等他の要因を除けば、株主様がご所有の当社株式の資産価値に変動はありません。

■ 1株未満の端数が生じる場合の処理

株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法の定めに基づき、端数が生じた株主の皆様に対して、その端数の割合に応じて金銭をお支払いいたします。

■ スケジュール

平成29年9月26日	1,000株単位での売買最終日
平成29年9月27日	100株単位での売買開始日
平成29年10月1日	単元株式数の変更および株式併合の効力発生日
平成29年12月下旬頃	端数株式処分代金のお支払い

■ 単元株式数の変更および株式併合に関するお問い合わせ先

単元株式数の変更および株式併合に関するお問い合わせは、お取引されている証券会社または上記の株主名簿管理人までお問い合わせください。

日東紡績株式会社

〒102-8489 東京都千代田区麹町二丁目4番地1 (本部所在地)

